

細胞検査士会創立 50 周年記念事業準備委員会

平成 26 年度 事業報告

1. 第 55 回日本臨床細胞学会総会時に各小委員会委員を含めた全体会議を開催.

2014 年 6 月 6 日 (金) 11:00 ~ 11:40 (パシフィコ横浜 会議室 424)

出席者：浅見英一，阿部英二，有田茂実，伊藤 仁 (アドバイザー)，大田喜孝，
甲斐俊一，河原明彦，郡 秀一，清水恵子，白波瀬浩幸，中村厚志，
羽原利幸，原田仁稔，三浦弘守，三宅真司 (15 名)

欠席者：加藤 拓，川口詳司，棚田 諭，藤田 勝，藤山淳三，古田則行 (6 名)
(敬称略，五十音順)

議題

① 業務報告の確認

② 各小委員会の今後の進め方について

- ・ 各小委員会の企画については，30 周年と 40 周年記念事業の内容を確認して，タイムスケジュールなども可能な限り作成する。
- ・ 2017 年細胞学会総会の会場が決定してから，具体的な内容が進む委員会もある。記念式典準備小委員会などは，会場近隣県の委員を増やす必要がある。
- ・ 功労賞受賞者の選考基準は 30 周年と 40 周年記念事業時の基準を確認する。
- ・ 公開講座の具体的な内容 (講演名，講師など) については，今後，学術委員会や役員会で検討しながら決めていく。公開講座準備小委員会では過去の公開講座の内容を確認して，大枠を検討する。
- ・ 予算準備小委員会では，30 周年と 40 周年記念事業の会計報告を参考にして 50 周年記念事業の予算案を見直す。40 周年記念事業の収入源となった協賛メーカーを参考にし，各都道府県内の協賛メーカーもリストアップする。

(文責：三宅 真司)

2. 予算準備小委員会より

30 周年記念事業と 40 周年記念事業で協賛ないし広告料など，収入源となったメーカーをリストアップした。

① 30 周年記念事業：都道府県別，98 社)

② 40 周年記念事業：43 社

次年度には，都道府県代表者を通じてリストアップした企業・団体に対して協力要請を進めていく予定。

(文責：三宅 真司)

3. 功労賞選考準備小委員会より

50周年記念功労賞選考における素案について

① タイムスケジュール

- 2016年6月 : 各都道府県代表者へ功労賞受賞者推薦の依頼文書提出
2016年8月末日 : 各都道府県からの受賞者推薦期限
2016年11月 : 記念盾・契約業者決定（相見積りによる入札）
2017年3月 : 記念盾・デザイン決定，版下原稿作成
2017年4月 : 記念盾・発注
2017年6月 : 50周年記念式典開催（功労賞授与式）

② 功労賞受賞者選考基準

- 1) 細胞検査士資格取得後20年以上細胞診に従事している者.
- 2) 地域活動を行なった経歴がある. または現在行なっている者.
- 3) 長期にわたり細胞診の技術向上・普及に努力し，細胞学会および細胞検査士会の発展に功労があった者.
- 4) 全国レベルの賞（国際細胞学会技師賞，日本臨床細胞学会技師賞，小島三郎記念技術賞，緒方富男賞，福見秀雄賞，金井泉賞）ならびに過去に細胞検査士会，日本臨床細胞学会の功労賞，貢献賞を受賞した者は除く.

③ 選考方法

選考基準に従い，各都道府県別に対象者を推薦・決定し，各都道府県代表者が期限までに功労賞選考準備小委員会へ規定の推薦書を提出する（メールまたはFAX）.

④ 受賞対象者数

- 1) 総数：82名前後を初期設定し，役員会にて微調整を行なう.
- 2) 各都道府県の推薦枠（別紙参照）

⑤ 予算（記念盾作製費用）：800,000円

細胞検査士会50周年記念事業 功労賞推薦リスト

都道府県	会員数 (人)	推薦枠 (初期設定)	調整枠 (+, -)	推薦枠 (最終)
北海道	310	3		
青森県	58	1		
岩手県	59	1		
宮城県	115	1		
秋田県	71	1		
山形県	61	1		

福島県	95	1		
茨城県	117	1		
栃木県	80	1		
群馬県	131	1		
埼玉県	306	3		
千葉県	283	3		
東京都	950	10		
神奈川県	434	4		
山梨県	43	1		
長野県	148	1		
新潟県	147	1		
富山県	72	1		
石川県	88	1		
福井県	45	1		
岐阜県	105	1		
静岡県	168	2		
愛知県	352	4		
三重県	72	1		
滋賀県	64	1		
京都府	203	2		
大阪府	468	5		
兵庫県	295	3		
奈良県	40	1		
和歌山県	33	1		
鳥取県	37	1		
島根県	39	1		
岡山県	145	1		
広島県	185	2		
山口県	114	1		
徳島県	27	1		
香川県	87	1		
愛媛県	60	1		
高知県	24	1		
福岡県	386	4		
佐賀県	45	1		

長崎県	101	1		
熊本県	131	1		
大分県	83	1		
宮崎県	40	1		
鹿児島県	70	1		
沖縄県	79	1		
計	7066	80		

初期設定について

- ・各都道府県、最低1名以上の推薦とする。
- ・会員数 100 名に1名とし、十の位については四捨五入とする。

(文責：大田 喜孝)

4. 50周年記念誌発刊小委員会より

50周年記念誌についての素案

- ① 30周年記念誌と同様に，記念誌は式典が終了した後の発刊にする。
そのほうが式典の内容も掲載できる。
- ② 各都道府県からの細胞検査士会の歩みを掲載する。
30年史はすでにあるので，最近の20年分に重きを置く内容とする。
- ③ その他
 - 1) 歴代細胞検査士会会長たちが一同に集まり，3つぐらいのテーマについて（過去の良かったところ，将来に期待すること，会長の時に成し遂げたことなど）座談会を行い記事とする。
 - 2) 細胞診断の判定に極めて有用となった細胞所見の写真を掲載する。（論文掲載されたもの）。掲載の判断は記念誌発行委員会，記念事業委員会委員長，細胞検査士会長で行う。
 - 3) 会員のコメントを一行（50字程度）掲載。内容は問わず，希望者のみ。しかし原則全員にお願いする。基本的にインターネットによるフォーマットで提出してもらう。
 - 4) 写真のみではなく，読めるもの，とくに役に立つ情報やトピックスなどが多く含まれたものにする。
 - 5) 海外で活躍している細胞検査士のページを設ける。

(文責：加藤 拓)

5. 検査展準備小委員会より

検査展についての素案

- ① 50周年記念事業の実施目的や実施テーマにそった内容にする.
- ② 特に一般の方へ細胞検査士の業務や使命を理解してもらうことが重要だと思われるので、早期発見のための検診業務や早期治療・最先端医療に我々がどのように関わっているのかをパネル展示・ビデオ上映などにより説明する.
- ③ また外部モニタ付き顕微鏡によりデモンストレーションを行う.
- ④ 開催場所については、学会場近隣の百貨店、ショッピングモールまたは公開講座会場近辺.

(文責：藤山 淳三)

6. 公開講座準備小委員会より

公開講座についての素案

- ① 細胞検査士の紹介
 - ・子宮がん検診における細胞検査士の役割
 - ・細胞検査士が行っている業務の内容
 - ・各種癌細胞の提示
- ② 検診の重要性
 - ・子宮頸がん検診と早期発見およびその後の治療
- ③ その他
 - ・がん治療について(手術療法、化学療法、放射線療法など)
 - ・子宮頸がん検診で癌を早期で発見された患者さんからのお話
 - ・がんサバイバーの体験談
 - ・乳癌の診断と治療

(文責：羽原 利幸)

【平成27年度 事業計画案】

6つの小委員会（記念式典準備小委員会、功労賞選考準備小委員会、公開講座準備小委員会、記念誌発刊準備小委員会、検査展準備小委員会、予算準備小委員会）で、引き続き各企画を詳細に検討する。

(文責：委員長 三宅真司)